

No. 2967

2020-2021年度

会 長 橋爪 誠治
幹 事 井上 修平
R広報委員長 菅原 佳典



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2020-2021年度クラブ方針

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」



本日のプログラム

令和3年4月1日 第2968回

- ・ 会員卓話：脇村重徳君「地域の存立基盤を揺るがす人口減少～有田市の将来人口の推計と課題～」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2967回例会）

開催日 令和3年3月25日(木)

点 鐘 [橋爪(誠)君]

ニコニコ箱の報告 [上野山(栄)SAA]

橋爪(誠)君: 会員の皆様、先週は後期IDMでの活発なご意見ありがとうございました。リーダーの嶋田さん、菅原さん、本日の発表よろしくお願ひいたします。

松村君: 先日のIDMにおいて多くのご意見をいただきありがとうございました。とても参考になりました。本日は各班長さん発表よろしくお願ひします。

上野山(栄)君: 本日はインターネット配信でさみしいです。IDMの発表よろしくお願ひします。

出席報告

本日の会員数29名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数24名
(出席規定免除会員7名)

会長の時間 [橋爪(誠)会長]

「トラ」か「ねこ」か

明日3月26日から、日本プロ野球のセリーグとパリーグが同時に開幕を迎えます。

去年は、3月開幕をあきらめ、延期した4月23日開幕も断念、結局、6月2日から無観客試合でスタートさせました。7月10日からやっと上限5000人の観客を入れての試合が行われました。

本年度は、開幕から観客1万人規模からのスタートのようです。



次回のお知らせ

令和3年4月8日 第2969回

- ・ 外部卓話：伊原 彰紀氏（和歌山大学講師）
「データサイエンスのはじめの一步」
- ・ ソング：「それでこそロータリー」

新型コロナを正しく恐れながら、通常の観戦環境に戻していく努力は、プロ野球界でも大変だと思いますが、少しずつでも通常運営にしていくチャレンジは大事だと痛感しております。

後ほど、リーダーより発表がございますが、先週の後期IDMで、松村年度に向けての例会運営方法が話し合いされました。私の年度では新型コロナウイルスを回避する対応が主でしたが、松村会長エレクトのクラブ運営では、更なる工夫あるチャレンジを期待したいと思っています。

野球をネタに出させていただいたのには理由が、もう一つございます。

阪神党の皆様、巨人党の皆様、他の球団ファンの皆様、はたまた興味の無い方まで、私個人的に大注目選手をこの場をお借りして発表致します。

阪神タイガースに入団した、佐藤輝明選手にご注目宜しくお願いしたいと思っています。きっと、球界を代表する選手になると信じています。タイガースファンである自分を忘れていましたが、数年ぶりにタイガースの動向に注目せずにはられない逸材です。

福岡ソフトバンクファークスが日本シリーズを4連覇中で、セリーグが優勝したのは、2012年の巨人軍までさかのぼります。

1975年からパ・リーグはDH制導入してからのDH制導入後の46年間の対戦成績は、セリーグ18回・パリーグ28回となっています。今年はコロナ対策で延長なしの9回で勝負を決めます。投手優勢となりますので、今年は一発で仕留める打者と、投手がまとまっているチームが優勢だと思います。となると新人選手に期待を負わせるのは気の毒かもしれませんが、佐藤輝明選手が起爆剤となった阪神に期待せずにはられません。

阪神ファンのあるあるですが、開幕前のこの時期が一番期待を大きくさせ、5月ごろには現実を知るパターンです

が、今年こそはワクワクなシーズンで、1985年以来の日本一になってほしいと願います。

幹事報告 [井上幹事]

- 1.臨時理事会開催 25日の例会は対面式を中止とする
- 2.28日 地区大会開催
- 3.28日 地区大会 米山奨学金寄付4,000万円達成で表彰(2019～2020年度)
- 4.ハイライトよねやまが届いています



後期IDMの発表

2020-2021年度 後期IDM

テーマ
「ウイズコロナ・アフターコロナの
クラブ運営について」

【第1班】



リーダー
菅原 佳典 君

日時: 令和3年3月17日 18:30～19:20

場所: 有田市宮原町 橋家4階

参加者:

- 1.菅原佳典(リーダー=司会進行)
 - 2.木本隆昭(サブリーダー=記録)
 - 3.成川守彦(情報研修)
 - 4.松村秀一(情報研修・会長E)
 - 5.橋爪誠治(会長)
 - 6.橋爪正芳
 - 7.宮井清明
 - 8.北畑貴行
 - 9.上野山捷身
 - 10.丸山芳孝
 - 11.岩本道弘
 - 12.辻恭治
- 以上12名(順不同敬称略)

今回、松村会長エレクトから提示いただきました「ウイズコロナ・アフターコロナのクラブ運営について」のテーマに基づき今年度後期IDM第1班を開催いたしました。

最初に松村会長エレクトより現状の例会運営について橋爪会長が苦労しながらも工夫しリモートと現会場での実際の出席を取り混ぜまことにうまく運営されていること。しかしながら本来やるべき事業の開催が従来のようにできていないことなどから、今後このコロナ禍でどのように事業の展開をすればよいのか、また例会や委員会など普段のクラブ運営についてもどのようにしてゆけばよいのであろうかと今回のテーマについてのご説明とご挨拶がございました。

続いて橋爪誠治会長からも現状と今後のクラブ運営について参加者皆様からのご意見を伺いたいとご挨拶がございました。

第1班ではコロナ禍におけるクラブ運営「ウイズコロナ」、コロナ後のクラブ運営「アフターコロナ」とテーマを二つに分け皆様に意見を述べていただきました。また、クラブ運営も「例会」、「委員会」、「各種事業」についてご意見を伺いました。

- (1)各参加者のコロナ禍での例会運営に対する意見
- 1.ロータリーはロータリーらしい例会をするべきである。全ての事業を中止した団体もある中、例会運営は工夫している。
- 2.自身としては例会に出席できていない。DVD視聴による出席をしているが、コロナ禍ではやむをえない。
- 3.コロナ禍の中現在の状況はやむを得ないと思う。しかし、いろいろ努力と工夫をして例会運営をしていると思う。
- 4.このままでは何の為のロータリーかわからない。
- 5.自身は例会に関してはユーチューブでの出席が多い。会が継続してやっていく事が大事だと思うので、今のやり方はいいと思う。
- 6.コロナ禍、今の例会運営は若い会長だからここまでできたと思う。委員会の開催はできていない。事業の方も仕方ないが、今後考えていかねばならない。
- 7.例会運営はよくやっている。ただ、会長が大変である。(会場の準備等)委員会や事業については6のご意見と同意見である。
- 8.皆さんと一緒に意見です。橋爪会長でなければ今の形の例会はできていない。コロナ禍においては、辛抱も一つの策である。事業はリモートでできるものはないか。まだ皆で集まっての事業は難しいのではないか。
- 9.会長が一番会の事を考えていると思う。自身は体調の事もあり、歯がゆい思いをしている。やはり例会は皆が顔を合わせるのが普通である。事業は若い人がこれからの形を考えていけばいいと思う。
- 10.まずは例会を止めたくない。

コロナ禍の中、委員会や例会に人を集める状況でなくはがゆい。辛抱、我慢の時である。ただ、職業奉仕事業はリモートで開催した。ラオスへの国際奉仕事業(寄付)も行う。

松村さん年度でリモートをどうするか。

やはり、対面での例会がいい。リモートでは満足感がない。

出席メンバーの意見としてはおおむね例会に関してはうまくいっているとの肯定的な意見が大半であった一方、いかんせん例会の設営や運営については一部の会員に負担が集中してしまっていること。委員会の開催ができていないこと。事業について今年度は職業奉仕委員会と社会奉仕委員会の合同で行われたリモートによる職業紹介事業と今後行う予定であるラオスへの寄付等を含めた国際事業をやはりリモートで行うことの2事業のみとなってしまうこと。

このような状況下でロータリークラブとしての事業の展開とその課題を考えなければならないという問題や委員会活動の方法論、例会の設営についての負担の分散化

など、私たち有田ロータリークラブの会員全員で考えていかねばならないことだと思いました。

(2) コロナ禍での事業について(丸山芳孝職業奉仕委員長からの報告)

「ウイズコロナ」でのクラブ運営についてご意見をいただいたあと、丸山職業奉仕委員長より3月16日に実施された委員会事業の報告と感想をお伺いいたしました。

3月16日にリモートで職業奉仕事業を開催。対象は箕島高校で参加企業は8社。1社10分程度で商工会議所6Fで開催。

各企業によるアピールもうまくやれていて、高校生たちにはよかったと思う。現地でブースでやると、人気のある所に人が集中したり、説明が何回も必要だったり大変だったがリモートではそれもなくスッキリしてこの方が良いかもしれないと思った。

こういう形もありかなと思った。

手間が少ないのが利点である。

今回、職業奉仕・社会青少年奉仕での合同事業であるが、委員会は特に開くことなく橋爪会長、丸山委員長、川口副幹事、松村会長Eの4名で計画及び開催となってしまった。

(3) 「アフターコロナ」についての意見

1. 次期会長からコロナ禍での運営をどうするか方針を提示したらどうか。こういう事をしたいと会長からみんなにもちかけたらどうか。会長から打ってでる事も必要である。
2. 今の状況が続いていけばこのままである。他の団体が動くとか、社会的な動きがあれば。現在ロータリーを続けていくのは大変だが、先が見えない中今は何とも言えない。コロナ感染者が増えたら例会もできない。
3. ワクチン接種の進捗度によるが、先はわからない。
4. アフターコロナをどう定義するのかわからない。緊急事態宣言解除後もいろんな行動制限がある中、社会状況を見ながら活動していくのが賢明であると思う。
5. 例会場に参加すると、他の会員に移す可能性もある。現在が緊急避難的な例会なら、元にもどすのがいいと思う。
6. 会員が退会しないか心配である。松村さん、次年度お願いします。
7. はっきりわからないが、次期の優秀な役員たちに相談して、あまり気にせず思い切ってしてほしい。今年の経験を活かして松村さんにお任せします。
8. まだまだコロナが収束するわからない。もうちょっとかかるだろう。今は辛抱。
9. やはり対面での例会が大事。だから皆が参加しやすい例会を考えるべきだ。例えば、例会場を広いところに変えたり、飛沫飛散防止の亚克力板を立てたりしてはどうか。

実は本日退院したばかりで、帰りに和歌山城で桜を見た。花見ができたらいいのにと思った。

退会する会員がでないか心配である。例会の方向性を考えていかねば、外で何かできないか。

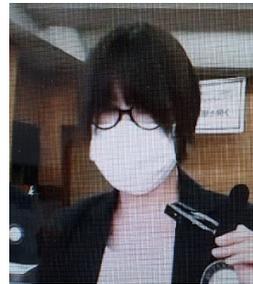
以上のご意見に対する松村会長Eより感想として

状況を見ながらやっていく。今は、橋爪会長が頑張っている。ラオスの国際事業も仕込んでいる。例会のできない時でもユーチューブチャンネルを一人でやって凄と思う。

皆様の意見からウイズコロナからアフターコロナには急激に変わるものでもなく、クラブの運営のそのスタイルを徐々に変化させていかなければならないものである。そのためには会員それぞれが知恵を出し合い、前向きな考えで「例会」、「委員会」、「事業」を開催し運営していかなければならない。例会の会場なども従来の場所にこだわらずもっと広い会場や屋外での開催も視野に入れ、季節ごとに花見や月見などを取り入れることなどもう一步の工夫も必要だと思いました。

(本原稿は木本隆昭サブリーダーの記録原稿を元に追記作成いたしました)

【第2班】



リーダー
嶋田 恵 君

開催日時: 令和3年3月18日 18時30分定刻通り開催
出席者: 嶋田恵(リーダー)、川口健太郎(サブリーダー)、中元耕一郎(情報・研修委員長)、松村秀一(会長エレクト)、橋爪誠治(会長)、脇村重徳、岩橋行伸、上野山栄作、井上修平、児嶋正人、福原陽司(敬称略)
会場出席者10名、ZOOM1名、欠席者6名での開催となりました。

課題「ウイズコロナ・アフターコロナのクラブ運営について」

中元さんからIDMを解説。

「今回の後期IDMの意見は次年度会長方針の参考と致します。」というお話の後

趣旨説明を松村会長エレクトより

現在の例会について、コロナの影響はまだまだ続くと考えております。リモート併用で例会を行っていますが、事業が出来ない状況です。しかしながら、先日職業紹介事業をリモート開催したのを拝見しました。これも一つのアイディアと捉えています。各種活動について皆さまのご意見をお願い致します。

ということで、ウイズコロナとして今後の取組と対応について、また例会や事業への皆さんの考えを述べていただきました。

例会について

- ・ まだ終息はなく、変異ウイルスの増加している中ですが、この21日は緊急事態宣言の解除の方向となっても厳しい状況は変わらないし、しかし現在橋爪会長の元、うまく運営されていると思います。

- ・出席しているのはクラブ会員のみだから、という理由です。外部にはまだ出られない。
- ・リモートであればスマホでどこでも参加できますので大きな手段となる。この状態はもう少しの辛抱です。たまにお会いするのは良いと思いますが、気になる方はぜひリモート参加を試みていただきたいと思います。
- ・仕事上や立場によりコロナの感染に対して敏感になっている中で、今のリモートが最適だと思います。また、先日の例会から食事を開始しましたが、食事をする意味を感じませんでした。食事はお互いの懇親の場であると捉えていましたので食事は無しとして、時間短縮で例会を開催すれば感染リスクも下がると思います。
- ・出来るだけ現場に参加していますが、有田地域の状況は落ち着きが見られ、リモート併用から通常の例会に戻すことが良いと思います。
別の会では、広い会場を使い対策しながら対面式で行っていますので、例会は対面でも可能と思います。現在のリモート開催に頼り切る状況がロータリークラブの良さを阻害している一面もあり、変えなければならぬと思います。
コロナウイルスは、これからも変異し毒性の強いものへと変わっていくと思われませんが、対してワクチンの供給はまだ追いついていない状況でもありますが、ワクチン接種が行き届けば通常の例会は可能であります。今はこの形の例会は続けていくことが良いと思います。また、現在は橋爪会長がリモート対応をいただいています。橋爪会長が休まれた時、誰かが行える体制を整える必要があります。
- ・例会に関しては現在、会場・YouTube・DVDとしています。これがベターな方法だと思います。
県から毎回注意喚起がメール、FAXに送付されてきます。ロータリークラブは予定を数か月先まで決めますが現状は先々まで決められない。その時々臨機応変さが必要と思いました。
食事に関しても会長の苦渋の決断である。
- ・今行っている方式を続けて、状況を見て通常に戻すという対応で良いと思います。ただ、会場に来ない方に飽きられない工夫も必要。今までの決まったやり方が通用しない。広いところで行うことで、例会は対面でも可能だと思う。
- ・この機会にミャンマーの現状等、リモートで確認し皆さんへ発信する例会でもいいのではないかと思います。

意見を集約すると、対面での例会は基本だと思いますが、今の現状ではなかなか難しい。リモートを上手に使いながら行う。橋爪会長の負担を軽減する。

事業について

- ・事業に関しては次年度地区の会長はロータリー奉仕デーを設けなさいと言われてしています。内容は2つ以上のクラブで地域の人を25%以上含む事業を行うこととされている。どうすればいいのか迷います。世界のロータリアンが行っているリモートの事業を見てみるといろんな事を試行錯誤しながら行っている。これを参

考として考えていきたいと思います。

本年度はリモートで職業紹介事業とラオスとの寄付(物品で行う)になるかもわかりませんが模索しているところです。寄付はRIはこれまでの在り方を斬新的に変革していこうと言っています。そのような事を考える1年であつても良いと思います。

- ・職業紹介事業ですが、各企業さんはリモート開催にたけていると感じました。集まるという事業は今後も難しいので、開催するならリモートで行うのがベストだと思います。
- ・今後も慎重な対応が必要。
橋本年度の時にさくらんぼとの事業を企画していましたがコロナのために寄付という形になりました。良く出来てこれぐらいかと思います。
奉仕活動に関して現在無理かと思いますが、奉仕団体ではないですが、困っている方々に使うことは良いのではないかと思います。
現状、他のクラブなど見てみると寄付行為が目につきます。今年だけ行うことも一つと考えられます。かつ、リモートでの交流を行うことで事業性を持たせます。
- ・桜木の手入れをどうするか検討中。
- ・また、みかん街道でお弁当を頂き会員同士が会う機会を設ける(1班から)
- ・理事会はリモートも含めて出来ています。委員会は全ては出来ていないです。
食事なしで理事会を行うとすると招集時間をどうすればよいか悩みました。会の運営も同じく考えられることで、全ての権限議決理事会でなければならないこと自体も現在の状況に対応できていない、執行部による裁量権を持たせることを考える時期ではないかと思えます。
- ・例会を休会にすると理事会や委員会をメールやリモートで行うことで意思疎通が難しく感じました。だから事業が遅れてくる状態となってしまった。定款や定款細則もこのような状況は想定されていない内容ですので自由度が必要。

意見を集約すると、今の段階での事業は困難。

例会と同様リモートで対応。

寄付も検討。ただし物品で。

理事会や委員会に自由度を持たせる。

コロナ禍でのロータリーの事業の自由化。

閉会・点鐘

[橋爪(誠)会長]

令和2年度 和歌山大学学位記授与式 2021年3月25日(木)



任君の指導教官 金川めぐみ氏と一緒に
(和歌山大学 経済学部経済科 准教授)



日程	4月の例会プログラム
4/1(木)	会員卓話 脇村 重徳 君 「地域の存立基盤を揺るがす人口減少～有田市の将来人口の推計と課題～」
4/8(木)	外部卓話 伊原 彰紀 氏 (和歌山大学 システム工学部講師) 「データサイエンスのはじめの一步」
4/15(木)	休会
4/22(木)	新入会員卓話 辻 恭治 君
4/29(木)	休会